

教材教具名 水まきカレンダー	教科(学年会活動)
----------------	-------------

教材教具写真

7がつ みずまき カレンダー





撒いたときのシール



雨の時のシール

教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 芋を育てているという長期の見通しをもって、主体的に水まきをするとともに、雨天時はしなくてもいいことを納得し、日々の生活の一部として活動を続けることができる。
 - 2 発達段階 カレンダーの1マスが1日だということがわかっている。
 - 3 使い方
 カレンダーを教室の壁か黒板に貼る。
 サツマイモの畑に水を撒いたら、その日の枠に水まきシールを貼る。
 雨天時には雨のシールを貼る。
- 日常の毎日することはルーチン化して視覚支援が無くていいものは多い。しかし、したりしなかったりのある不規則なことは、その区別が混乱の原因になりやすかったりする。
- 今回、芋の水まきカレンダーを作って毎日することに視覚的に気づかせるようにした。水まきをしたらシールを貼るようにした。雨の時は水まきをしなくていいので、シールが貼れない。そうするとカレンダーに貼りたくても貼れない空欄ができる。そこで雨天時には雨のシールを貼れるようにした。
- 雨の日は水まきは無しということを視覚的に区別納得させるとともに、カレンダーの空欄を全部埋めることができるので1ヶ月ごとの達成感も持つことができる。
- なお、カレンダーの上部の写真は、水まきすることの意味をいつでも見てわかるように図で示している。(短期記憶保持の視覚的支援)

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

黒板に貼っているこの「水まきカレンダー」を見ることで、芋に水まきをすることを自分から気づいて、教室から離れた畑まで行くようになった。雨の日は、傘マークシールを貼ることで水まきがないことを納得している。

注意点
 自閉症児の視覚に強いことや完璧にしたいという性格を生かした教材である。似たような教材を作る場合、教員がさせたいことを強制させるために使わないように、くれぐれも気をつけていただきたい。この事例解説文からお察しただけと思うが、あくまでも児童が主体的にすることに気づいて、自分から行動することを支援するために作ったのである。「水まかないとシール貼れんよ!」的なことは、くれぐれも言わないようにしていただきたい。